

山形県長井市・岩手県奥州市・宮城県白石市
「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結



協定書を取り交わした(左から)長井市の内容重治市長、風間市長、奥州市の小沢昌記市長

ダムがつかない新たな連携
「中距離間トライアングル」で相互支援

5月17日、本市と山形県長井市、岩手県奥州市の3市が「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。この協定は、地震や風水害などの大規模災害が発生した時、物資の提供や復旧・復興に必要な人材の派遣、避難者の受け入れなどを相互に行うものです。

協定締結は、3市長が「東北ダム事業促進連絡協議会」の正副会長を務めていたことがきっかけ。東日本大震災の教訓から、「陸路で2時間圏内の距離に位置し、太平洋側と日本海側にあるなどバランスも良く、迅速・確実な支援が期待できる」として、昨年秋から締結を検討してきました。

宮城県庁で行われた締結式で、奥州市の小沢昌記市長は、「災害が大規模化しており、中距離の自治体の連携が重要」と締結の意義を強調。長井市の内容重治市長は、「協定を機に、互いの市民が関心を持ち、災害時だけでなく市民同士の交流も深めていきたい」と話し、風間市長も「この協定により、それぞれの市民に安心感を届けることができる。平時の地域交流も深めていきたい」と、市民間の交流にも期待を寄せました。

協定では食料や飲料水、毛布、医薬品など平時から相互に確保しておく物資をあらかじめ指定したほか、人的支援や被災者の受け入れなどを通して、避難生活や復旧・復興を迅速にサポートする体制を整えました。

平成22年4月に、姉妹都市である登別・海老名両市と締結したトライアングル応援協定は、東日本大震災時に大きな力を発揮しました。これは市民同士の平時からの交流によるところが大きかったとも言われています。長井・奥州の両市とも平時の交流が活発に行われ、どんな災害にも負けない「絆」が育まれていることが期待されます。



■山形県長井市

山形県南部に位置し、面積214.69km²、人口約3万人。酒田から最上川を經由して米沢に至る舟運の港町として栄えた商業都市。朝日・飯豊・出羽の緑豊かな山系に囲まれ、「水と緑と花の長井」をキャッチコピーに、あやめ公園や白つつじ公園、久保桜などの観光名所がある。また、映画『スウィングガールズ』に登場するフラワー長井線が通る。最上川水系賜野川に長井ダムがある。

■岩手県奥州市

岩手県南部に位置し、面積993.35km²、人口約12万5千人。平成18年、水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村の5市町村が合併して誕生。県内第3位の面積を有する。「蘇民祭」で有名な黒石寺や、えさし藤原の郷などの平安ロマン薫る名所のほか、前沢牛などの農業、南部鉄器などの伝統産業が盛ん。北上川水系胆沢川に石淵ダムがあり、その下流に平成25年度完成予定の胆沢ダムがある。

特集
復興への道程

一日も早い生活の再生と地域産業の再建を目指して
「白石市東日本大震災復興計画」を推進!



- | | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |
| 5 | 6 |

1_足場が組まれる白石城北側(6月7日撮影) 2_白石城復旧工事を担当する齋藤則企画情報課主幹 3_津波の被害を受けた名取市の農家が白石で再起 4_復旧を終えた東中学校グラウンド(6月10日撮影) 5_道路工事が進められた城南地区(1月6日撮影) 6_道路復旧工事を担当する高橋雄一建設課土木係長

復旧・復興事業全般に関する
問い合わせ先
復興対策室 ☎22-1561